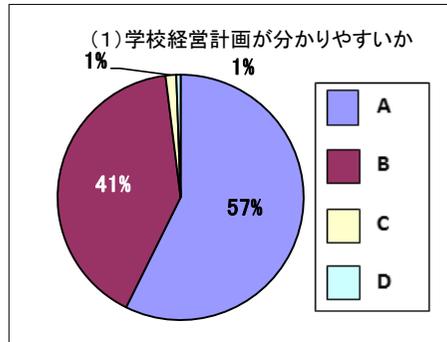


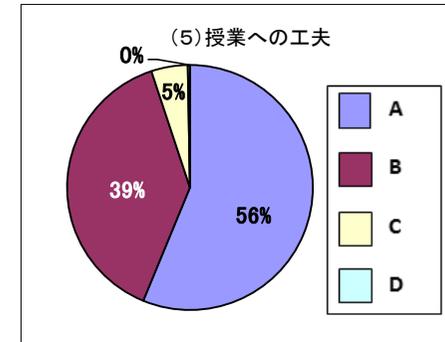
平成29年度 学校関係者評価のご報告

学校評価にご回答いただきまして、誠にありがとうございました。皆様に結果をご報告いたします。

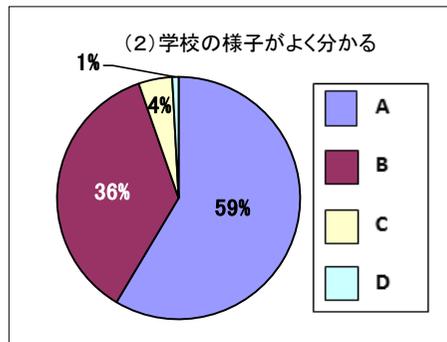
*平成28年度の結果については、ホームページをご覧ください。



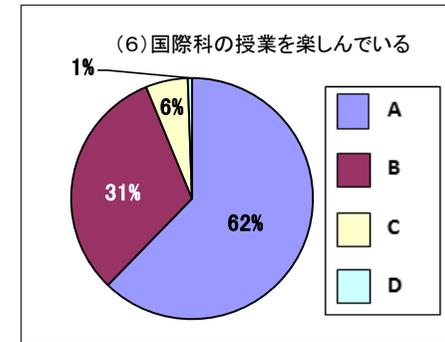
本年度も本校の学校運営に、ご理解・ご協力いただき感謝しております。全体的には理解が得られている割合が若干増えました。昨年度同様に、各学期の初めに毎回全体保護者会を実施し、学校経営について説明する機会を設けました。また、新一年保護者説明会を学校公開時に行ったところ、例年になく多くの方に参加いただき、保護者・地域の皆様にご理解いただけるように努力しました。校長が示した学校経営計画を、教職員が教育活動全般で実践していくことが大切だと考え、日々努力を続けています。来年度に向けて、より分かりやすい学校経営計画を示し、結果が子供たちの姿として現れるように、教職員が一丸となってよりよい教育を実現していきます。



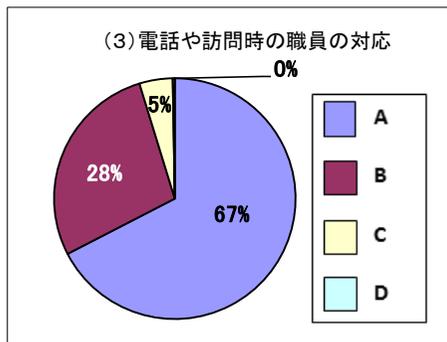
昨年度と同様の評価をいただきました。今年度は港区研究奨励校研究発表会を行い、教職員が共通理解しながら、切磋琢磨して授業力の改善に努めました。国語科の基本的・基礎的な学力を高学年の社会科や総合的な学習の時間で活用することで、新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」ができるように努力してまいりました。全国の先生方から、子供たちが主体的にかつ論理的に考える姿にお褒めの言葉をたくさんいただきました。授業改善には終わりがありません。これからも、社会で生きて働く力を児童に付けていけるように、教員の研修機会を増やし、充実した授業が実現できるように努力していきます。



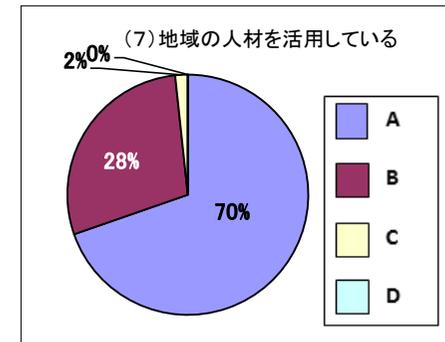
昨年度と同様の評価をいただきました。今年度は、学校の様子がよく分かるように、ホームページの更新を増やし、学校の様子を発信してまいりました。また、校長自ら授業の様子を写真に撮り、掲示することで、来校した方が本校の様子を知ることができるようになりました。学校公開週間に子供まつりを設定し、児童の主体的な活動を参観していただく機会をもちました。各学年の活動を参観することで6年間の子供たちの成長を見ていただくよい機会となりました。多くの保護者・地域の皆様に参加していただき、機会を有効に活用していただいたことに感謝しております。緊急メール配信を学校メールと名称を変え、緊急対応だけでなく、大切なお知らせがある場合にも活用できるように考えています。保護者の皆様に情報を有効に活用していただけるように努力してまいります。



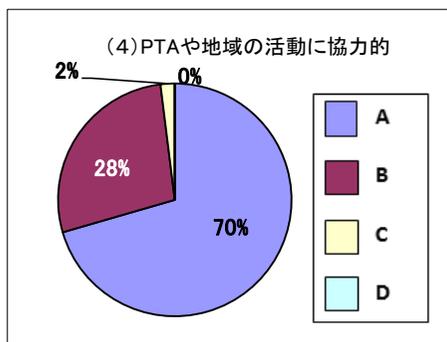
昨年度と同様の評価をいただきました。今年度は保・幼小中学校連携の研究授業として1年生が国際科で研究授業を行いました。中学校の英語の先生にもご意見をいただき、国際科の授業改善について研修を行いました。発達段階を考え低学年は歌や読み聞かせ、中学年はゲームや活動を取り入れ、高学年ではアクションカードを活用しながら中学校との連携を考えて実施しています。また、6年生では、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて「Welcome to Tokyo!」という教材を使いながら国際理解を進めました。英語科の導入を見据え、世界の文化に触れ、コミュニケーションを楽しめるような工夫をして更なる改善をしていきたいと考えています。



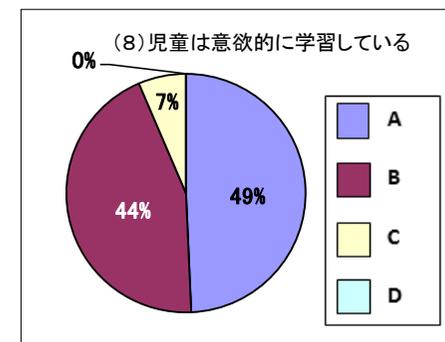
昨年度と同様の評価をいただきました。ただし、自由記述欄の中に「電話対応でのやり取りがスムーズにいかなかった。」「欠席時はFAXで知らせるとあったが、FAXがない家はどうしたらよいか明記してほしい。」「FAXでの欠席届が届いているか心配。」などのご意見をいただいております。改善にかかわるご意見に対して、どのように改善できるか新年度に向けて検討してまいります。また、緊急を要しない電話が減り、ご協力に感謝しております。これからも、私たち大人が見本となる受け答えをし、子供たちの規範となれるように、今後も体制を整えていきます。



昨年度と同様の評価をいただきました。今年は特に東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、地域人材を活用しながら授業を進めました。1・2年生はカナダ大使館、3年生はフィジー大使館の方に様々な文化を教えていただきました。また、地域にある放送局と協力しながら、4年生は盲目の新聞記者と、5・6年生はパラリンピック選手との交流を行いました。特に、6年生は地域の「おもてなしの達人」から本当のおもてなしを学ぶ授業で、手紙を書き、協力して下さる地域の方を学校に招きました。地域のお茶の先生、駅員さん、商店街の和菓子屋さんなど多くの方に協力していただき、充実した授業ができました。これからも、各学年で地域人材の活用について年間指導計画に位置付け、計画的に実施できるように努力してまいります。



昨年度に引き続き、良好と判断される結果でした。今年度は学校公開の土曜日に、子供たち主体の活動である赤小子供まつりを行い、PTAの出し物を同時開催しました。授業時間内で実施することで、学校・PTA・地域の協力がスムーズにできたと考えています。また、通学路点検では、教員・PTA・警察などの地域と一緒に地域の安全点検を行い、協力しながら子供たちが安全に登下校したり、地域で遊んだりできるよう共通理解する取組を2回行いました。安全マップも配布しましたので、協力して作り上げた成果をご活用ください。また、校外での取り組みでも、毎年、社会を明るくする運動のパレードや赤坂地区防災訓練などに多くの方が参加していただき、子供たちが地域で暮らしていくために必要な意識を一緒に高めることができました。今後も、PTAや地域の皆様と連携して、子供たちの教育に邁進していきます。



昨年度と同様の評価をいただきました。研究奨励校として2年間「主体的に学ぶ児童」を目指して授業改善をしてきましたが、この2年間で意欲的であると評価していただく割合が高まりました。特別支援教室の取組も2年目となり、学習でつまづきがあり、意欲的になれなかった子供たちが少しずつ自信をもって授業に取り組むようになってきています。今年度、オープンスペースの壁などの設置については、改善をしました。子供たちが落ち着いて学習に取り組めるように学習規律と生活規律を見直すことにもなりました。学力向上には、生活規律も関係していると考え、ご家庭のご協力をいただきながら、重点的に指導すべきところを教職員で共通理解し、学習に集中できるように努力していきます。